

# 補助金事業者向け AI業務効率化提案

補助金支援業務を、より速く・より標準化し、  
処理件数と品質の両立を実現



対象：補助金専門コンサル会社 / 中小企業診断士事務所 /  
認定支援機関を持つ税理士事務所



申請要件チェック



書類作成の自動化



データ分析・可視化



類似事例の提案



ナレッジの標準化



提案元：株式会社デバイスエージェンシー  
提案日：2026.04

# 導入イメージと次のステップ

まずは小さく検証し、成果を確認しながら本格導入へ進めます。


## 導入事例（想定）

-  事務所規模 : 中小企業診断士事務所 **5名**
-  導入前 : 案件工数 **50時間/件**、月**10件**処理
-  実施内容 : Claude Project構築、  
プロンプト整備、社員研修
-  導入後 : 案件工数 **25時間/件**、月**20件**処理
-  コメント : “代表依存が減り、  
案件品質の標準化が進んだ”


## 次のステップ


-  **1 無料ヒアリング（60分）**  
現状の課題やご要望を丁寧にヒアリングします。
-  **2 御社専用ROI試算レポート**  
業務データをもとに、効果を可視化したレポートを提出します。
-  **3 1案件のPoC（2週間）**  
実案件をもとに、効果検証と改善提案を実施します。
-  **4 本契約・本格導入**  
運用設計・研修・サポートまで一貫して伴走します。

## なぜ当社か

 **AI実装力**  
業種特化のAI活用ノウハウで、  
成果につながる仕組みを構築。

 **HubSpot・自動化経験**  
リード獲得からナーチャリング・  
業務自動化まで一気通貫で支援。

 **伴走型でナレッジ定着**  
現場に寄り添い、使いこなせる  
組織づくりまでサポート。

 **今日決めることは、  
無料ヒアリングの日程設定だけです。**

# セキュリティと90日導入ロードマップ

機密情報を扱う業界だからこそ、安全性と導入プロセスの見通しを明確にします。

## セキュリティ・データ保護



- ✓ Claude Team / Enterprise は会話内容を学習に利用しない
- ✓ ZDR (保存しない設定) にも対応可能
- ✓ 個人情報のマスキングルールを整備
- ✓ SOC 2 Type II / ISO 27001 / ISO 42001 取得済

## 信頼の証明・安心の運用基盤



データ暗号化  
通信・保存データを  
暗号化して保護



アクセス制御  
権限制御と多要素認証で  
不正アクセスを防止



監査ログ管理  
操作履歴を記録・保管し  
追跡可能



厳格な権限管理  
最小権限の原則で  
情報漏えいリスクを最小化

## 90日導入ロードマップ



Day 1～15  
ヒアリング・過去案件整理

納品物：初期設計書



Day 16～30  
Claude Project構築・  
第1回研修

納品物：プロンプト初版



Day 31～60  
実案件で並走・社員展開

納品物：運用ガイド



Day 61～90  
自走化・月次レビュー  
体制へ移行

納品物：KPIレビュー資料

安全性を担保しながら、現場に定着するまで伴走する設計です。

# 導入前後のROI試算

標準プラン（Tier 2）を導入した場合のモデルケースです。

📋 前提：月10件処理 / 平均成功報酬30万円 / 社員5名 / 現状50時間/件

## 導入前

📋 月間処理件数	10件
🕒 案件工数	50時間/件
👤 月間総工数	500時間
¥ 月間売上	300万円

## 導入後

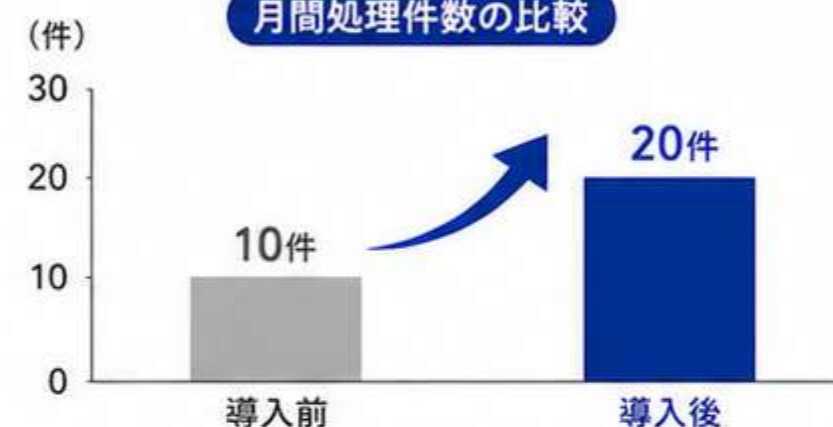
📋 月間処理件数	20件
🕒 案件工数	25時間/件
👤 月間総工数	500時間
¥ 月間売上	600万円

📈 差分売上  
**+300万円/月**

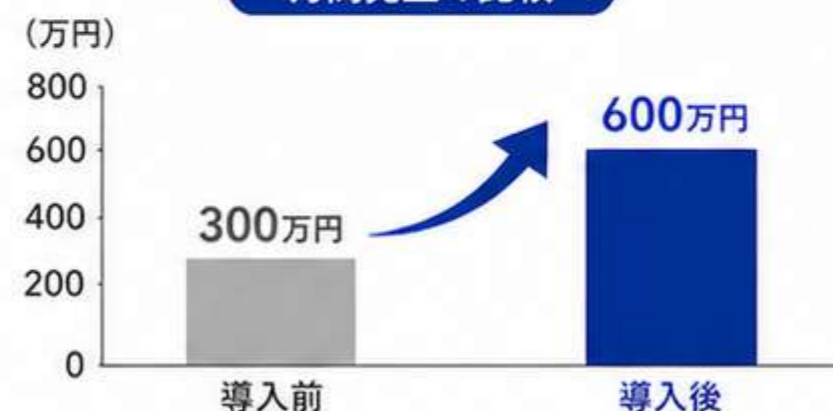
📈 年間売上効果  
**+3,600万円**

📅 投資回収目安  
**2~3ヶ月**

### 月間処理件数の比較



### 月間売上の比較



✅ 工数半減だけでなく、同じ人員で案件数を伸ばせる点が最大の投資対効果です。

# 標準プラン (Tier 2) の中身

最も導入効果と再現性のバランスが良い、本命プランです

-  **専用Claude Project構築**  
過去採択案件、公募要領、テンプレートを整理
-  **工程別プロンプトパッケージ**  
F・G・I・Lを中心に30~50個を整備
-  **全社員研修 + 集中育成**  
90分×2回、運用担当者を育成
-  **月次レビュー会**  
処理件数・採択率・工数を確認
-  **案件管理ダッシュボード**  
HubSpot連携はオプション対応

## 主な納品物

-  Claude Project
-  プロンプト集
-  運用マニュアル
-  レビューシート
-  KPI管理テンプレート

### 案件サマリー (今月)

処理件数  
**128 件**  
前月比 +18%

採択率  
**72 %**  
前月比 +6pt

削減工数  
**86 h**  
前月比 -22%

### 工程別進捗



### 採択率の推移



### 案件ステータス



### 工数削減効果 (累計)

**-312 h**  
前年比 -28%

✓ 単なるツール導入ではなく、現場で使い切る体制づくりまで伴走します。

# 提供サービスメニュー

ご予算や運用体制に合わせて、3階層で導入できます。

Tier 1 入門		Tier 2 標準 <span>推奨</span>		Tier 3 統合	
 対象	AI未導入の事務所	 対象	ChatGPTを個人利用している事務所	 対象	複数拠点・複数ブランド運営
 内容	主要5補助金×7工程の プロンプト集、90分研修×2回	 内容	Claude Project構築、 全社員研修、90日伴走	 内容	HubSpot連携、API活用、 jGrants自動化
 価格	50～80万円	 価格	初期180～350万円 + 月15～30万円	 価格	初期600～1,500万円 + 月30～80万円
 期間	2～3週間	 期間	初期60～90日	 期間	初期90～150日
 ROI	月50時間削減目安	 ROI	月250時間削減目安	 ROI	処理能力1.8倍 + 採択率向上

 まずはTier 2を基準に、必要に応じて上下に調整する設計です。

# AI×補助金業務の全体マップ

補助金コンサル業務を13工程に分解し、AI活用ポイントを整理しました。



重点4工程だけでも、1案件あたり **30～50時間** の削減余地があります。

# 業界共通の7つのボトルネック

多くの補助金事業者で共通して発生している、工数と品質の課題を整理しました

1



## 公募要領の差分把握

改定確認に半日/  
漏れは不採択リスク

2



## 採択事例の属人化

ベテラン依存/  
新人育成に時間

3



## ドラフト作成負荷

1案件 8~25時間

4



## 加点項目チェック

1~2時間/  
取りこぼしが発生

5



## 実績報告の隠れ工数

1案件 20~40時間

6



## ヒアリング整理

録音→議事録→ドラフト化が手作業

7



## 外部との往復対応

認定支援機関との調整で遅延



特に「ドラフト作成」「加点チェック」「実績報告」は、AI導入効果が大きい重点領域です。

# なぜ今、AI活用が必要なのか

補助金支援業務を取り巻く外部環境は、すでに大きく変化しています。



## 顧客側の変化

- ✓ 申請前にAIで情報収集する企業が増加
- ✓ 質問の粒度が高くなり、回答速度も期待される
- ✓ 提案の質とスピードの両立が求められる



## コンサル側の変化

- ✓ ChatGPT・Claudeでドラフト生成が実用段階へ
- ✓ AIに強い事務所が先行し、差が広がっている
- ✓ 少人数でも高品質に案件を回す体制が重要



## 制度側の変化

- ✓ 公募要領の改定差分把握が負担
- ✓ DX・GX・賃上げなど加点項目が複雑化
- ✓ 採択後の実績報告まで含めて業務負荷が増大



今動く事務所ほど、処理件数・採択率・顧客満足で優位に立っています。

# 本日のご提案概要

補助金支援業務の効率化・標準化・収益拡大に向けた全体像をご説明します。

-  外部環境の変化
-  業界共通のボトルネック
-  AI×補助金業務の全体マップ
-  サービス設計と価格
-  ROI試算
-  導入ロードマップ

## この提案で実現すること



処理件数

1.5~2倍



工数

30~50  
時間削減 / 件



品質

標準化・  
再現性向上



本資料では、まず業界の課題を整理し、  
その上でAI導入による具体策と投資対効果をご提示します。